



PACIFIC CARGUY RACING

2021 AUTOBACS SUPER GT Round5 SUGO GT 300km RACE REPORT

カテゴリー	:GT300クラス
エントラント名	:PACIFIC CARGUY Racing
マシン名	:PACIFIC NAC CARGUY Ferrari
カーナンバー	:9
タイヤ	:ヨコハマタイヤ
ドライバー	:木村武史、ケイ・コツツオリーノ
レースクイーン	:Pacific Fairies
開催日	:2021年9月11日-12日
会場	:スポーツランドSUGO(一周3.586km)
天候	:11日 ♣(Dry) 12日 ☀(Dry)
気温	:11日 23°C 12日 28°C
路面温度	:11日 30°C 12日 44°C
参戦車両数	:GT500/15台 GT300/28台 合計43台
Best Lap	:1:18.331
Q1 Bグループ	:6位
Q2	:16位
決勝	:15位



事前情報

昨年のスポーツランドSUGOでのレースは、新型コロナウイルスの影響によって開催されなかった為、今回のレース開催は2年振りとなった。

スポーツランドSUGOのレーシングコースは幅が10m～12.5mと狭く、最終コーナーからホームストレートにかけての急勾配が特徴である。また、”菅生には魔物が棲む”と言われるように、雨や霧によるレース中断や、他のコースではありえないようなトラブルが発生してきた。その為、今年の SUPERGTも折り返しとなるRd.5菅生は様々な意味で注目される大会となった。

前回の鈴鹿戦で4位という結果を残したPACIFIC CARGUY Racingは36kgのサクセスウェイトを搭載しての走行。ドライバーには前回に引き続きケイ選手。そして3戦振りに復帰した木村選手のコンビで3連続入賞を目指した。

公式予選:Q1 Bグループ



2021.9.11	
14:48-14:58	
ドライバー	:ケイ・コツツオリーノ
気温	:24°C
路面温度	:27°C
順位	:Bグループ6位
Best Lap	:1:18.331
Lap数	:3Lap
走行距離	:10.758km

■5分間のペナルティも物ともせず6番手でフィニッシュ。Q2へ繋ぐ。

練習走行ではアクシデントによりテストメニューを全てこなすことができなかつたものの、10番手のタイムを記録したPACIFIC CARGUY Racing。しかしひペナルティを受けている為、Q1は開始5分後にコースインとなった。Q1ドライバーはケイ選手。巻き返しを図る為に、ケイ選手の手腕に望みを託す。チームの想いに応えるように、2周目で渾身のアタックを仕掛ける。1:18.331という今レースのチームベストタイムを叩き出し 6番手でフィニッシュ。見事その実を見せつけ、Q2進出へ繋げた。

公式予選:Q2



2021.9.11

15:23-15:33

ドライバー	:木村武史
気温	:23°C
路面温度	:30°C
順位	:16位
Best Lap	:1:20.397
Lap数	:5Lap
走行距離	:17.93km

■好調な走りを見せるも16番手でフィニッシュ。

気温23°C/路面温度30°C、路面温度が少し上昇したコンディション。Q2ドライバーは3戦振りに復帰した木村選手。2周かけてウォームアップをし、順調にタイムを縮めていく。そして3周目でアタックを仕掛け、1:20.397をマークし、16位でチェックマークとなった。

決勝

2021.9.12

14:48-16:38

第1ステント	:木村武史
第2ステント	:ケイ・コツツオリーノ
気温	:28°C
路面温度	:44°C
順位	:15位
Best Lap	:1:21.677
Lap数	:77Lap
走行距離	:276.122km



真っ青な空が広がった決勝日。気温 / 路面温度は28°C/44°Cと、前日とは異なるコンディションとなった。13時30分、フォーメーションラップがスタート。本来フォーメーションラップは2周の予定だったが、隊列が揃わず1周追加。代わりに決勝の周回数を1周減とし83周となった。第1ステントは木村選手。18番グリッドからの出走となる。順位を守りながら快調な走りを見せ、24周目でピットイン。タイヤ交換を済ませ、ケイ選手へ交代。じわじわと順位を上げていくが、ここで菅生の魔物が牙をむく。45周目の最終コーナー付近で出火した車両が出たため、SC(セーフティカー)が導入される。このSCで車両の距離が縮まることとなり、ピットインを行っていないチームにとっては厳しい状況となった。その後51周目にレースがリスタートし、即座に順位を上げ16番手へ。しかし64周目に停車車両が出たことでFCYが掲示。アクシデントが続出する波乱なレースとなつたが、ケイ選手は順位を守り続け、16番手でフィニッシュ。正式結果ではペナルティにより降格した車両が出たため、最終結果は15位となつた。

COMMENT



総監督 神野元樹

「今回のレースでも貴重なポイントを獲得することができました。チーム作りも仕上がりがついていますし、マシンバランスも良かつたです。得られたデータも多く、新たな課題も見えたレースでした。次回のオートポリスまでにしっかりと準備して臨みます。応援有難う御座いました。」



木村武史

「練習走行ではアクシデントを起こしましたが、マシンを復活させてくれたチームには感謝しています。厳しい予選になるかと思いましたが、6位でQ1突破したケイ選手の力走には感激でした。3戦振りとなったSUPER GTのレースでしたが、チームが一つになれていることを実感しています。次回のオートポリスでも、チーム一丸となって上位を狙っていきますので、応援よろしくお願いします。」



ケイ・コツソオリーノ

「今回はチームとドライバー共にFerrari 488 GT3を菅生で走らせるのは初めてでしたが、走り始めから好調な滑り出しだした。無事Q1を突破することもできましたし、決勝でも良いペースで走ることができました。今回のレースで得た貴重なデータをもとに次回のオートポリスで上位狙っていきます。」

PARTNERS

CAR G Guy
RUF
NAC
NAKANIHON AUTOMOTIVE COLLEGE
中日本自動車短期大学



SPONSORS

AUBE HAIR
PONOS
INSIGHT
TARGETSHIBUYA
OKAKIN GROUP
AEI 愛知電線
AICHI ELECTRIC WIRE

東邦ロジスティクス
TOUHO Logistics

TOUHO
Logistics

ASAP
ASAP Co.,Ltd.

KANAO CORPORATION
MIND
MIND

NALLY ENTERPRISE INC.
Valuable Information for you

Style Plus 名古屋
クリエイティブスタイル名古屋

Aces
新英金属
HOME PLANNER Group
G-PLUS
UMEDA GROUP
TTB
TOMA Total Business Co.,Ltd.


中日本氷糖株式会社
HOUSER
シンコーグループ
新堺薬品株式会社

Fujita Corporation
J-C corporation

MEIKOH CONSTRUCTION
PAINT & WATERPROOFING